

抗酸化土壌改良材使用結果のご報告

去年の冬に試作品が完成し、これまでサンプル配布・販売等を行い、冬から夏にかけての資料をまとめましたのでお知らせ致します。

えみな等で既に良い結果が出ていますので、ここでは土壌改良材以外の抗酸化関連の物を入れずに栽培しました。

ジャガイモの発育実験



溝を掘り、種芋を植えその上から土壌改良材を散布しました。

今年は天候不順により、種まきから発芽まで時間が掛かりました。一般の畑を見ると断然育ちがよいです。種まき3月19日 発芽4月15日頃



5月20日現在 丈が60cm位まで成長。

近所の畑ではアブラムシによる被害が多かったそうですが、改良材を使った畑ではアブラムシが極端に少なく、被害は有りませんでした。

大きく成りすぎて強風時あおられるため、アーチ型の支柱で補強しています。



6月15日収穫

収穫時の写真が壊れてしまったので掲載できませんが、収穫量は普通でした。

小ぶりのジャガイモの種類ですので、見た目はこんな感じです。

写真は皮のまま素揚げをしています。味はとても甘く、子供達にも人気でした。

観葉植物の実験①



2月20日撮影

折鶴蘭の鉢に土壌改良材を約20g程度を散布。

5月22日撮影
多数のランナーが出て、勢いも良い。
葉の色もツヤツヤしてハリも出て来た。



観葉植物の実験②



左側の鉢に土壌改良材20gを
散布。
同条件下に置き観察。

約1ヶ月後。
土壌改良材を入れた
方は花が咲きました。
勢いも良いです。



観葉植物の実験③



左側に土壌改良材を散布。
1ヶ月後20cm以上の差が出
ました。



老梅の実



ショールーム前の老梅です。
お客様から「この老梅はずいぶん大きいね～」と言われ
サイズを測ってみました。



実の部分だけで約4 cmで
す。

発芽実験

100%土壌改良材の中で発芽実験をしました。将来的に稲の苗床に応用できれば良いです。



様々な種を植えてみました。
キンカンは2年前 唐辛子類は1年
前の種なので、発芽は期待できませ
んが、とりあえずやってみました。



小松菜は一週間で写真ぐらい。
発芽し始めたのは4日目。



実験開始から12日目
ミニトマトアイコも発芽し始めました。



実験開始から17日目
ミディトマトも発芽し始め、小松菜の発芽率も93.3%になりました。

土壌改良材を使った畑作り



実験用に黒土6 m³を入れました。
見た目は良さそうな土ですが、土の臭いよりも薬品臭の方が強い感じ。



そこへ土壌改良材5 kgを入れ耕しました。
2日目にはほとんど臭いもしなくなり、1週間後には昔ながらの土の香りがするようになりました。



奥の畝に買ってきたF1ミニトマトの苗とゴーヤ。
2番目・3番目には発芽実験で育ったミディトマトとミニトマト。



前の写真から2週間
F1ミニトマトは実を付け
始めました。



ミディートマトも順調で
す。



ミニトマトアイコも順調で
す。

植物の育ちは全般的に良いのですが、雑草の育ちも良くてこまります。
アブラムシも数匹見かけましたが、全く問題のないレベル。



F1 ミニトマトに大量の実が付きました。
一般では花にホルモン剤を噴霧したり、化成肥料を与えたりしないとココまで実ることは珍しいそうです。



上はミディトマト。
左はミニトマトアイコ。
どちらも種から抗酸化環境で育てたのでとても元気の良いです。
500円玉と比較してみると、ミニトマトアイコが一般よりも大きいことが解ります。



どんどん大きくなります。
摘芯をしても他がどんどん伸びて行きます。
土壌改良材を使った畑では、天候不良は特に関係ないようです。



ゴーヤもどんどん実っています。
この畑で育ったゴーヤは苦みも少ないように
感じます。
子供達も普通に食べてくれます。



酸土計で測ってみると、常に
pH6位をキープします。

この畑には土壌改良材以外、えみ
なも入れてなく、屋根も付けてい
ないので、普通に酸性雨が降り注
ぎます。

もちろん苦土石灰なども入れてい
ません。

酸性雨はpH5位です



さすがに雨よけしていないので皮
は固いですが、食べてみるととと
も甘いです。

土壌改良材を使うことにより現状確認できたこと。

- ・発芽率が上がる。
- ・発芽させた苗は丈夫でハリがある。摘芯するときに簡単に折れない。
- ・接ぎ木しなくても、問題なく育つ。
- ・実の付き方が多い。
- ・病気になるしない。
- ・酸性土壌を弱酸性土壌に変えてくれる。（ちょうど良い環境にしてくれる）
- ・アブラムシの発生が少ない。
- ・土中に含まれる農薬の分解が出来る。（臭いで判断）
- ・畑の中で蚊に刺されない。（蚊が少ない）

今後は・・・

- ・連作障害等への効果も検証していきます。
- ・出来た作物から種を取り、次世代への影響を検証します。
- ・農家の方達へ協力を求め、実用に向けたデータを集めていきます。

簡単ですがご報告致します。

平成22年7月28日

生活環境設計 株式会社
大嶋 宣通